

令和5年度 中学校特別支援教室

こぶし教室

武蔵野市立第二中学校【拠点校】

所在地：〒180-0021 東京都武蔵野市桜堤1-7-31

電話：0422-54-9103（二中こぶし教室直通）

FAX：0422-53-3411（二中こぶし教室直通）

<教室の教育目標>

個々の障害による様々な困難を改善・克服し、学校生活や社会生活に適應できる、心豊かな生徒を育てる。

- 1 情緒の安定を図るとともに、自己理解を深め、豊かな人間関係を築くことができる力を育てる。
- 2 心身ともに健康で、自主的、意欲的に行動できる力を育てる。
- 3 自ら進んで学ぶ意欲を育て、自立した社会生活を送ることができる力を育てる。

<指導の基本方針>

生徒の自立と社会参加を見据えながら、在籍学級担任や教科担当、保護者、特別支援教育コーディネーター、特別支援教室専門員、巡回相談心理士との連携を図り通級指導を行う。

- 1 人との関わりを大切にし、対人関係のあり方を学び社会性を育てる。
- 2 生徒一人一人の発達段階に応じた指導を行い、自らの能力を十分に発揮できるように支援する。
- 3 生徒一人一人の能力や適性に応じて主体的に社会参加ができるよう支援し、自立を目指した指導を充実する。
- 4 保護者や在籍校、関係諸機関等との連携を密にし、共通理解を図りながら指導を進める。

<入級対象生徒>

武蔵野市立中学校に在籍している生徒。

知的障害がなく発達障害等があり、通常の学級での授業におおむね参加でき、一部、特別な指導を必要とする生徒。

<こぶし教室の概要>

- ・拠点校 武蔵野市立第二中学校
- ・教室名 こぶし教室
- ・学級形態 特別支援教室
- ・教職員 二中拠点校校長 菅野 由紀子
二中拠点校副校長 田中 淳一
巡回指導教員 佐藤 鈴代、松井 晶揮、大沢 武弘
吉野 哲也、大平 優歌

◆各校に特別支援教室専門員を配置する。

・在籍生徒数（令和5年4月1日現在）

	一 中	二 中	三 中	四 中	五 中	六 中	合 計
1 年	6	2	6	6	1	3	24
2 年	4	4	2	6	4	0	20
3 年	0	4	1	5	0	2	12
合 計	10	10	9	17	5	5	56

＜指導形態・指導内容＞

対象生徒は、週に1～8時間程度、在籍中学校内に設置された特別支援教室へ指導を受けに行く。
指導形態は個別指導もしくは小集団指導である。

特別支援教室では、

- ・生徒の情緒の安定を図りながら、ソーシャルスキルトレーニングや社会性を育むための活動
- ・自己理解を深め自尊感情や自己肯定感を育む活動
- ・教科学習への見通しがもてるようになるための支援

など、生徒の実態に応じた自立活動の指導を行う。

＜教室の予定＞

1 学期	巡回指導始（4月17日） 保護者会（4月24日） 第1回新入生保護者説明会（7月5日） 全学年個別面談（7月10日～28日）
2 学期	第2回新入生保護者説明会（10月）
3 学期	全学年個別面談（2月13日～26月） 巡回指導終（3月15日）

＜特別支援教室での指導の開始と終了の流れ＞

- ①保護者または学級担任等の気付きから、面談等を行い、支援を検討する。
- ②在籍校の校内委員会で協議・検討する。
- ③発達検査の実施（既に実施している場合は、その資料を学校へ提出）
- ④生徒や保護者と在籍校担任等や巡回指導教員等との面談実施、合意形成を図り、入室の申請を行う。
- ⑤市の通級判定委員会が開催される。（適・可・否いずれかの判定となる）
- ⑥在籍校から保護者へ結果が通知される。
- ⑦指導開始。定期的に指導目標が達成されたか評価し、退室か指導継続かを検討する。

（原則の指導期間は1年間となっています。）

＜二中案内図＞



◆JR中央線 武蔵境駅下車 北口よりバス

- ・関東バス 「向台町五丁目」行き
又は「ヴィーガーデン西東京」行き
『境橋』下車 徒歩5分

- ・小田急バス 「団地上水端 (hocco)」行き
『団地中央』下車 徒歩5分